

商業科「 情報処理 」 学習指導案

日 時 令和元年10月30日(水) 6校時
ク ラ ス 3年BC組ビジネス
指 導 者 教諭 高城 新
使用教科書 情報処理新訂版(実教出版)
場 所 情報処理室

1 単元名

3章 ビジネス情報の処理と分析

2 単元の目標

- ・表計算ソフトウェアの特徴を理解し、基本操作ができる。
- ・関数を利用して有用なビジネス情報を導き出すための技法を学ぶ。
- ・基本的な関数を利用できる。
- ・表の検索や文字列の加工、データベース関数などの応用的な関数が利用できる。
- ・グラフの基礎知識を学び、作成ができるようになる。

3 評価規準

A 関心・意欲・態度	B 表現の能力	C 理解の能力	D 知識・理解
表計算ソフトウェアを活用できる場面をイメージして演習に取り組み、積極的に技能・技術の習得しようとする。	表計算ソフトウェアの機能を用いてデータを適切な表に表すことができる。	操作方法や答を求める方法は一つでなく、自己にとって最も効率的な方法を選択することができる。	表計算ソフトウェアの特徴、ワークシートの構成や機能を理解している。

4 生徒の実態

3年BC組ビジネスコース18名(男子8名女子10名)の素直で真面目であり、検定合格を目標に、積極的に取り組む姿勢が素晴らしい。しかし、物事に対して自ら考え、解決に向かおうという姿勢が弱い生徒もいるため、授業を通し成長を促したい。

5 単元の指導計画

9月下旬までは情報処理検定を念頭に置いた学習と演習を繰り返し行ってきた。用意された答を作成条件に従って求めることはできるようになってきているが、与えられたデータを元に自ら作成条件を考え、作表する演習をおこなってこなかった。実社会でこれまで学んだ内容を生かすために、あらかじめ用意された解答を求めるのではなく、データを読み取り自ら考え判断し、作表し内容をまとめること学ばせたい。

6 ルーブリック

本時の目標：平成29年、平成30年、令和元年それぞれ8月における湯沢市の最高気温・最低気温のデータを元にして「暑いのはどの月か」をテーマに、自ら必要と考えた項目により作表をおこない、自分の考えとその理由を発表することができる。

到達度 観点	A	B	C	評価の方法
思考 判断 表現	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマに沿った項目を立て、作表をおこなうことができる。 ・作成した情報を元に自分の意見を論理的に述べるることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作表をおこなうことができる。 ・自分の意見を述べることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作表をおこなうことができない。 ・自分の意見を述べることができない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作成された表 ・発表

7 本時の計画

- (1) 題材名 データから情報を生みだし、自分の考えとその理由を発表する。
- (2) 学習過程

	学習活動	指導上の留意点	評価の観点
導入 10分	これまでの振り返りを行い、学んだ関数について列挙する。	個々の関数については、深入りしない。	
展開 35分	データを準備する。	テーマを提供する。	自ら項目を考え、表を作成することができる。 【B】 作成された情報を元に自分の考えを発表することができる。 【B】
作表 20分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 本時の目標：平成29年、平成30年、令和元年それぞれ8月における湯沢市の最高気温・最低気温のデータを元にして「暑いのはどの月か」をテーマに、自ら必要と考えた項目により作表をおこない、自分の考えとその理由を発表することができる。 </div>		
発表 15分	必要と考える項目を考え、値を求める。 作表をおこなう。 各自が作成した情報を元にテーマについて発表をおこなう。	説明しすぎずに、まずは、生徒の自由な発想を促すよう心がける。 テーマに対する個々の答とその理由を述べさせる。	
まとめ 5分	振り返りシートをまとめる。	振り返りシートをまとめさせる。	